

モンゴル

モンゴル経済は、鉱業部門へ大規模な外国及び国内の投資と、主要輸出品の市場価格の上昇に支えられ、2011年第1四半期も引き続き世界経済金融危機からの回復の順路にのっている。経済成長率は上昇しており、鉱工業生産額、貿易総額は引き続き増値している。インフレ率は一桁レベルに低下した。財政収支は黒字となっている。しかし一方で、失業は高い水準に止まっており、貿易収支の赤字も拡大している。

マクロ経済指標

2010年第1四半期のモンゴルの実質経済成長率は前年同期比9.7%で、前年同期の8.4%を上回った。生産に対する純税収は前年同期を21.8%上回り、その大部分は外国貿易にからの税収であった。農業の生産額は6.9%、鉱工業は7.2%、サービス業は8.3%それぞれ増加した。なお、国家統計局は今回はじめて、四半期GDPの季節調整値を公表した。これによると第1四半期の対前期比成長率は7.3%であった。

消費者物価上昇率は、2011年3月末に前年同期比8%で、1月末の同13%から低下した。2011年1月には同13.8%とさらに上昇している。3月末において消費者物価指数(CPI)は、ほとんど全ての品目で前年同期よりも上昇幅を縮小しているが、例外は教育で前年同期比18.8%となり前年同期と同率を記録、また全品目で最高の上昇率となった。

通貨トゥグルグは米ドルに対して安定した増値を継続しており、3月の対米ドル為替レートは1ドル=1,228トゥグルグであった。トゥグルグは3月時点において、中国元に対して前年同期比10%、ロシアルーブルに対して同14.3%、それぞれ増値し、1元=187.1トゥグルグ、1ルーブル=43.2トゥグルグであった。日本円及び韓国ウォンに対しても増値を記録しており、3月の為替レートは1円=15.02トゥグルグ、1ウォン=1.1トゥグルグであった。

経済全般の回復にもかかわらず登録失業者数は増加を続けており、3月末で40,800人となっている。これは前年同期を9.8%、金融危機前の水準を30%以上上回っている。新規登録失業者のほぼ半数は、初めての登録であるか、あるいはこれまでに就労経験がないケースである。また、新規登録失業者の60%が雇用事業所等の閉鎖によって職を失ったケースであり、30%が兵役を終え就労を希望するケースであった。政府は2011年を「雇用促進年」と位置づ

け、雇用の拡大を図っている。

第1四半期の財政収支は1,040億トゥグルグの黒字となった。財政収入は前年同期を67%上回り、財政支出は同じく前年同期を24%上回った。しかし成立した予算によれば、今年度の政府支出は大幅に増加することが予定されており、財政赤字は今年のGDPの9.9%に達すると見込まれている。これは中期予算フレームワークの定める赤字の限度である5%を大きく上回る規模である。補助金及び給付金は予算分類の中で最も伸び率が高く、前年度を50%上回る見込みである。今年度から国民全員に対する月額21,000トゥグルグの現金給付が開始されている。

第1四半期末の外貨準備額は21億ドルで、これはモンゴルの輸入額の6.3カ月分に相当し、前年同期のほぼ倍にあたる。

産業部門と外国貿易

第1四半期の鉱工業生産額は鉱業部門の伸びによって前年同期比7.2%増となった。鉱業は前年同期比11.2%増、製造業は同1.6%増、エネルギー・水供給部門は同2.4%増であった。鉱業部門の生産の大部分は石炭採掘に関連している。第1四半期の石炭生産は600万トンで、前年同期を60%上回った。このうち半分は輸出された。

第1四半期の輸出先は44か国、輸入先は97か国であった。第1四半期の貿易総額は180億ドルで、前年同期を70%上回った。輸出は前年同期比49%増加、輸入は同89%増加した。中国は輸出、輸入の両方で最大の相手国となった。輸出の約90%を鉱業部門が占めた。

最近の動向

政府は2011年から2016年を期間とする新たな中期開発復興プログラムを策定した。プログラムの費用は18兆トゥグルグである。

南ゴビ地域で世界最大のコークス用炭田を開発するために政府が設立した「エルデネス・タバン・トルゴイ」社の株式の10%が、2011年3月31日以前に生まれた国民全員に配分された。これは一人当たり536株に相当する。残りの51%を政府が所有し、10%をモンゴル国内の企業に売却、29%は国際株式市場で売却する予定である。しかし最近、国内企業向けの10%も、改めて国民に配分するという議論が出てきている。その場合、国民の所有株式は一人当たり1,072株となる。

(ERINA調査研究部主任研究員 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年1Q	2011年1月	2月	3月
実質GDP成長率(対前年同期比:%)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲1.3	6.1	9.7	-	-	-
鉱工業生産額(対前年同期比:%)	▲4.2	9.1	9.7	2.8	▲3.3	10.0	7.2	2.7	▲2.4	21.6
消費者物価上昇率(対前年同期比:%)	9.5	6.0	15.1	22.1	4.2	13.0	8.0	13.8	11.0	8.0
登録失業者(千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	38.1	38.3	40.8	38.3	38.5	40.8
対ドル為替レート(トゥグルグ)	1,205	1,180	1,170	1,169	1,437	1,359	1,246	1,256	1,253	1,228
貿易収支(百万USドル)	▲113	107	▲114	▲710	▲229	▲379	▲346	▲140	▲60	▲146
輸出(百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	1,903	2,899	742	209	207	326
輸入(百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	2,131	3,278	1,087	348	268	472
国家財政収支(十億トゥグルグ)	73	123	133	▲306	▲329	2	104	▲27	46	85
国内貨物輸送(百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	8,981	12,106	3,063	-	-	-
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	7,817	10,268	2,250	783	615	853
成畜死亡数(千頭)	677	476	294	1,641	1,733	10,320	258	65	70	124

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数は期末値、為替レートは期中平均値。
(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号ほか